

公立大学法人滋賀県立大学の業務の実績に関する評価結果について（概要）

地方独立行政法人法第78条の2の規定に基づき、滋賀県公立大学法人評価委員会は、滋賀県立大学の第2期中期目標期間（平成24年度～29年度）のうち平成29年度の業務運営の実績等について、評価を行った。

1 項目別評価の結果概要について

項目名	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B 概ね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
大学の教育研究等の質向上		○			
大学経営の改善			○		

2 全体評価の結果概要について

(1) 評価結果：進行状況については「概ね計画どおり進んでいる」

(2) 特筆すべき事項

① 地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）の取組

教育面では、地域教育プログラムのカリキュラムが整えられ、地域においても様々な活動が展開されるとともに、活動主体を市民団体等に移行していくための準備が進められた。

② 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の取組

参加大学の連携事業の拡大、県内企業と連携し実習期間15日以上の中期インターンシップを実施し、国の中間評価において、A評価（S・A・B・C・Dの5段階評価）を受けた。

(3) 今後の取組を期待する事項および課題となる事項

① 地域ひと・モノ・未来情報研究センターにおける人材の育成

ICTの実践力を備え、時代の変化にも柔軟に対応することができる学生の育成や、テレビ会議システムを利用した遠隔講義の実施により社会人にも学びやすい環境を整え、学び直しの機会の提供にも積極的に取り組んでいくことを期待する。

② 研究拠点の形成

引き続き、県立大学の強みや特色を活かした研究の推進に重点的に取り組まれることを期待する。